

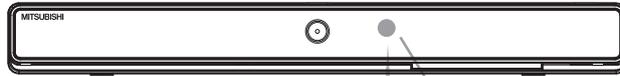
リモコン

乾電池の入れかたは ●▶ p.25

本機のリモコンには、レコーダー操作面とテレビ操作面の両面があり、ボタンを押す面を上にしたほうが操作できます。本機(レコーダー)の操作をするときは、レコーダー操作面を上にして操作してください。

▶ テレビの操作(テレビ操作面)をするときは ●▶ p.43

▶ リモコンのボタンを押したときの本体の操作音を入/切するときは ●▶ p.165



リモコン受光部
リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると、動作しないことがあります。

リモコンの使用範囲



上下各20°以内
左右各30°以内
正面から7m以内

操作面(ボタンを押す面)を上にして操作する

ボタンを押したとき、インジケータが点灯します。インジケータが点灯しない場合は、リモコンから信号が送信されていないので、操作面(ボタンを押す面)を上にして、もう一度操作してください。リモコンからの信号を本体が受け取ると、本体から操作音が鳴ります。(鳴る設定にしているときのみ)

レコーダー

電源

チャプターマーク追加 削除

外部入力 ネット

音声切換 字幕 おすすめ 予約 予約一覧

予約番組表

見る 残すダビング

メニュー 6x3 決定 サブメニュー

データ d 戻る

青 赤 緑 黄

シーン検索 スマート再生

チャット戻し 30秒 スキップ 前次ジャンプ

早戻し 再生 早送り

録画 停止 一時停止

地上 BS CS 番号入力

1 あ 2 が ABC 3 さ DEF

4 た GHI 5 な JKL 6 は MNO

7 ま PQRS 8 や TUV 9 ら WXYZ

10 0° 11 わ 記号# 12 *

レコーダーチャンネル 画面表示 操作音入切(長押し) テレビ音量

MITSUBISHI

本機の電源を入/切する

チャプターマークの追加や削除をする p.128

誤操作防止設定を入/切する《DVR-BZ265のみ》 p.165

時刻指定予約をする p.88

予約一覧画面を表示する p.88, 92, 96

おすすめ予約一覧画面を表示する p.93

番組表を表示する p.57, 84, 86

ダビング一覧からダビングする p.142

らく楽ダビングをする p.148

手間なしダビングをする p.150

ダビングを停止する p.152

サブメニューを表示する p.161

各種設定画面やメニューなどの操作をする(ボタンの絵のほか、[▲]、[▼]、[◀]、[▶]で説明しているところがあります)

各種設定画面などで1つ前の画面に戻る

チャット戻し、30秒スキップをする p.116

コマ送り、コマ戻しをする p.116

次の場面までとばす(ジャンプする)、スキップをする p.107, 116

再生をする p.107, 110~112

早見再生をする p.116

早送り、早戻しをする p.116

スロー、逆スロー再生をする p.116

一時停止をする p.82, 116

停止をする p.83, 107, 110~112

3桁のチャンネル番号を選局する p.55

テレビの音量を調整する p.43 (ボタンを押しても、操作音は鳴りません)

ディスク残量(停止中)や、録画中、再生中、視聴中の情報を表示する p.10

リモコンのボタンを操作したときの本体の操作音を入/切する p.165

ディスクトレイを開閉する p.67

「ネットワーク」のサービスを選ぶ p.186

外部入力に切り換える p.98

視聴中や再生中の音声を切り換える p.61, 120

視聴中や再生中の字幕の言語や表示の有無を表示する p.61, 120

HDD、ディスクの録画一覧画面を表示する p.107, 110~112

らく楽メニューまたは通常メニューを表示する p.157, 159

テレビ放送に連動したデータ放送を表示する p.59

番組表などを表示中に、いろいろな機能の操作をする

再生中に、シーン検索をする p.117

スマート再生をする p.118

録画、オフタイマー録画をする p.82, 83

本機の放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)を切り換える p.55

チャンネルの番号を選ぶ p.55

番号や文字を入力する p.130, 165

本機のチャンネルを切り換える p.55

各部

準備(接続)

準備(設定)

テレビ放送

メディア

録る

見る

編集

取り残さず

便利機能

安全注意

仕様

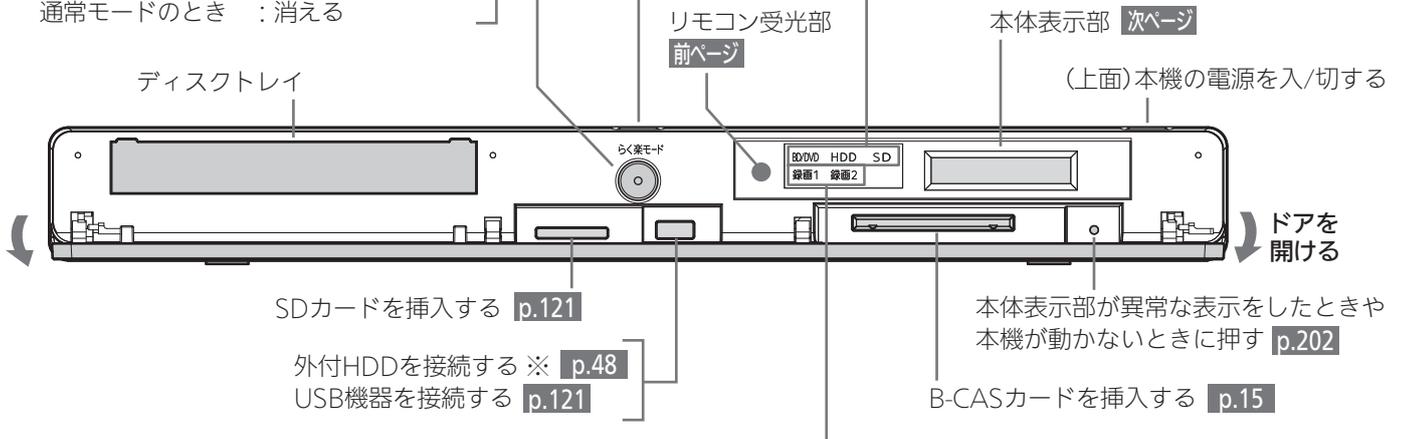
困ったとき

本体前面

らく楽モード [p.156](#) と通常モード [p.158](#) を切り換える(3秒以上押し続ける) ※
ボタン中央のインジケータについて
本機の起動中 : 点滅する
らく楽モードのとき : 点灯する
通常モードのとき : 消える

(上面) ディスクトレイを開閉する [p.67](#)

BD/DVD、HDD、SD :
電源が入るときは、[再生] ボタンを押すと再生が始まるメディアが点灯する



録画1 : 録画中に点灯する(録画一時停止中は点滅する)
録画2 : 2番組目の録画中に点灯する(録画一時停止中は点滅する)

※ 外付HDDを接続しているときは通常モードのみとなり、ボタンを押してもらく楽モードには切り換わりません。

本体後面 (本機にはテレビ接続用の電源コンセントは付いていません)

BS/110度CS放送用のアンテナ線を接続する [p.12, 13](#)

地上デジタル放送用のアンテナ線を接続する [p.12, 13, 16](#)

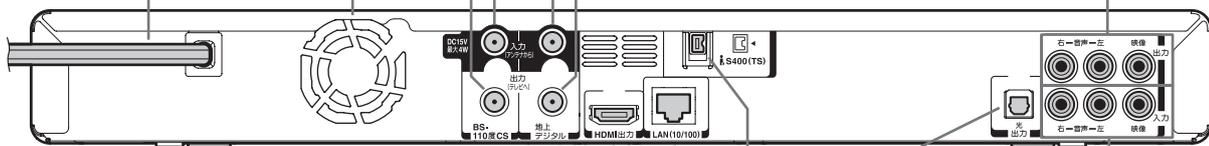
テレビのBS/110度CS放送用のアンテナ端子を接続する [p.12, 13](#)

テレビの地上デジタル放送用のアンテナ端子を接続する [p.12, 13, 16](#)

AC(交流) 100V
電源コンセントに
接続する [p.23](#)

冷却用ファン

テレビの映像・音声入力端子を
接続する [p.14](#)



HDMI対応テレビを接続する [p.14](#)

ケーブルテレビのセットトップボックスなどの外部機器を接続する [p.16, 153](#)

ネットワークを接続する [p.18](#)

スカパー! HD対応チューナーを接続する [p.20](#)

家庭内ネットワーク機能(ホームサーバー機能)対応テレビと接続する [p.21](#)

オーディオ機器とデジタル接続する [p.22](#)

i.LINK(TS)対応のケーブルテレビのセットトップボックスを接続する [p.17](#)

気を付けて

- 本機内部の放熱をよくするために、本機後面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、5cm以上空けてください。

ちょっとメモ

- 本体後面の冷却用ファンは、本機の電源が入るときは常時回ります。

画面表示



● 主な動作表示(①)

起動中	本機の起動中
▲、▼	ディスクトレイ開、閉
● 読み込み中	ディスクの読み込み中
●	録画開始
(赤)	録画一時停止
■	停止
□	つづき再生の停止(リジューム停止)
▶	再生
(白)	再生一時停止
▶▶ (音)	早見再生(音声付き早送り)
▶▶、◀◀	早送り、早戻し
▶▶、◀◀	スロー、逆スロー再生
▶▶、◀◀	正方向、逆方向のスキップ
内蔵HDD → 外付HDD	本体HDD→外付HDDへ番組の移動中
外付HDD → 内蔵HDD	外付HDD→本体HDDへ番組の移動中
内蔵HDD → ●	ダビング中(本体HDD→BD/DVDのとき)
外付HDD → ●	ダビング中(外付HDD→BD/DVDのとき)
● → 内蔵HDD	ダビング中(BD/DVD→本体HDDのとき)
SD → 内蔵HDD	ダビング中(SD→本体HDDのとき)
USBビデオ → 内蔵HDD	ダビング中(USB(ビデオ)→本体HDDのとき)

● 気を付けて

- 「⊘」が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

● ちよとメモ

- p.168「セットアップ」画面の「省電力/表示設定」-「動作状態表示」で画面に動作表示を表示するかどうかを選ぶことができます。
- 時間やチャプター数などの数字は、とびとびに表示されることがあります。
また、本体表示部と画面のカウンターが一致しないことがあります。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときや、動作状態が切り換わったときは、自動的に該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。

● 現在の本機の状態や情報の表示(②~⑥)

リモコンの を押すたびに、次のように表示されます。

すべて(②~⑥) → ④⑤のみ → ④のみ → 表示なし

- ②③⑥は、続けてボタンを押さない場合、数秒で消えます。
- ④は、録画・再生中にだけ表示されます。
- 該当しない項目は表示されません。また、他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。
- ② 番組の開始時刻と終了時刻、番組名、放送の種類、チャンネル番号、外部入力、など
再生中のメディア、番組名、など
- ③ 字幕の有無、音声の種類
- ④ 動作状態、番組のタイトルやチャプターの現在番号/総数、再生経過時間/総再生時間(時間:分:秒)、など
- ⑤ およその残量時間、いろいろな情報
再生中、録画中、停止中によって、表示される情報が変わります。
- ⑥ 現在時刻

● 残量時間について

残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。

- 現在本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。

【本体HDDの場合】

- 残量時間は、画面表示や、予約内容、予約一覧、おすすめ予約一覧、録画一覧などの画面で確認できます。
- 残量が少なくなったときは、予約内容、予約一覧、録画一覧の各画面の残量時間表示に「⊘」が表示され、録画モードが表示されません。

【外付HDDの場合】

- 残量時間は、録画一覧「」画面で確認できます。
- 残量が少なくなったときは、録画一覧「」画面のラベルが「」になり、残量時間表示に「⊘」が表示され、録画モードが表示されません。

【BD-RE/-R、DVD-RW/-Rの場合】

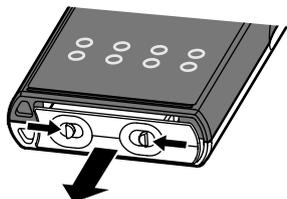
- 残量時間は、画面表示で確認できます。
BD-RE/-Rの場合は、予約内容、録画一覧の各画面でも確認できます。

設定1 リモコンに乾電池を入れる

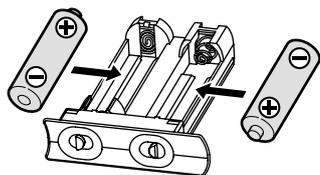
乾電池の入れかた

- 1 テレビ操作面を上にして、リモコン底面の電池ボックスを取り外す

リモコン底面
(テレビ操作面側)

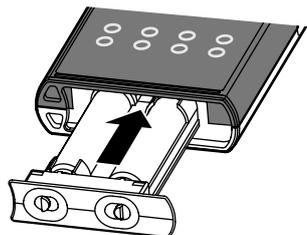


- 2 (－)側を先に入れたあと、(＋)側を入れる
単4のマンガン乾電池(R03)2本をお使いください。



- 3 電池ボックスを取り付ける

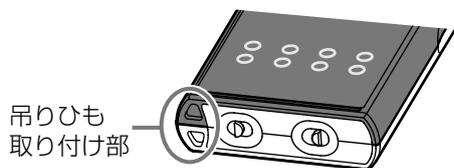
カチッと音がするまで、確実に押し込んでください。



吊りひも(ストラップ)を取り付けるときは

吊りひもを取り付ける場合は、リモコン底面の吊りひも取り付け部に吊りひもを通してご使用ください。

- ひもは、太さ1mm程度の丈夫なものをご使用ください。



吊りひも
取り付け部

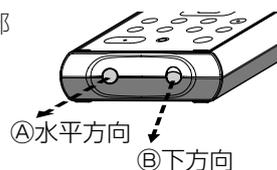
警告

乾電池および乾電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がる場所に置かない。

気を付けて

- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 新・旧の乾電池や種類の違う乾電池(マンガン、アルカリ)を混ぜて使用しないでください。
乾電池の液もれ・発熱・破裂により、火災・けが・周囲の汚損の原因となることがあります。
- 乾電池の寿命は、通常の使用で約6カ月です。
リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたときは、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- オキシライド乾電池、エボルタ乾電池などは、リモコン誤動作の原因となりますので使用しないでください。
- 不要となった乾電池は、不燃物ごみとして処理するか、お住まいの地域の条例に従って処理してください。
- 本機のリモコンで本機を操作する場合、リモコンからの信号は送信部④から水平方向に、⑤から下方向に同時に送信されます。
このため、⑤は下向きになっています。

リモコン送信部



送信部に力が加わると故障の原因になりますので、送信部を直接指などで押さないようにしてください。

- 本機のリモコンでテレビを操作する場合は、リモコンからの信号は送信部④からのみ送信され、⑤からは送信されません。
- リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりすると外傷には至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。



- リモコンを振ったり動かしたりすると内部で音がしますが、故障ではありません。

各
部(準
備
接
続)(準
備
設
定)テ
レ
ビ
送
信メ
デ
ィ
ア録
る見
る消
編
去
集取
り
残
込
す
む便
利
機
能安
全
注
意仕
様困
っ
た
と
き

? 当社BD/DVDレコーダーを2台以上使いますか？

はい

いいえ

この設定は不要です。次の設定へ。

本体とリモコンにそれぞれリモコンモードを設定することによって、本機のリモコンを操作するときには2台のレコーダーが同時に動かないようにすることができます。(工場出荷時の設定は、本体、リモコンとも「リモコン1」になっています。)

- 本機以外の当社レコーダーでリモコンモードを設定するときは、その機器の取扱説明書をお読みください。

リモコンモードを変更するときは(本体、リモコン)

先に本体のリモコンモードを変更したあと、リモコンのリモコンモードを本体に合わせて変更してください。

1 前ページの手順 1、2 を行って、「セットアップ」画面を表示する

2 本体のリモコンモードを変更する

1 「リモコン設定」を選び、決定する

2 リモコンモードを選び、決定する



- リモコンで本機が操作できなくなります。

セットアップ

省電力/表示設定	リモコン1
接続テレビ設定	リモコン2
時刻設定	
再生設定	
音声出力設定	
録画設定	
録画予約設定	
本機名称設定	
ホームサーバー設定	
外付HDD設定	
リモコン設定	
全情報初期化	
システムバージョンアップ	

3 リモコンのリモコンモードを、本体に合わせる

【「リモコン1」にするとき】レコーダーチャンネル と 決定 を同時に3秒以上押し続ける

【「リモコン2」にするとき】レコーダーチャンネル と 決定 を同時に3秒以上押し続ける

- リモコンで本機が操作できるようになります。

4 変更が終わったら、戻る を何回か押し、通常画面に戻す

前の画面に戻るときは
戻る を押す

通常画面に戻るときは
戻る を何回か押す

お子様などが誤ってリモコンのボタンを押しても、本機が動作しないようにするときは

リモコンのリモコンモードを本体と異なる方のモードに変更します。(本体のモードは変更しません。)

再びリモコンで操作できるようにするときは、リモコンのリモコンモードを本体と同じモードに変更します。

気を付けて

- 本機のリモコンで、当社の他のBD/DVDレコーダー (DJ-R1000を除く) を操作することもできます。
ただし、一部の機能の操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンで、DVDプレーヤーやビデオの操作をすることはできません。

ちょっとメモ

- 本体とリモコンのリモコンモードが異なる場合は、本機の電源が入のときにリモコンの操作をすると、本体表示部に次の表示が数秒間表示されます。

R-1・・・本体が「リモコン1」で
リモコンが「リモコン2」のとき

R-1

R-2・・・本体が「リモコン2」で
リモコンが「リモコン1」のとき

R-2